

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		活動プログラムによっては空き部屋や屋外を活用し、のびのびと活動できるよう工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			定員10名に対し、児童指導員3名、指導員1名を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			多目的トイレや廊下の手すりなども設置されており、段差もない構造となっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的に担当職員で支援の振り返りを行ない、目標や支援方法の見直しなどを行なっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートを実施し、保護者の意向を把握する機会を設け、その結果を職員で共有している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページ上に掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			積極的に研修等に参加するようにしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			6ヶ月に一度のモニタリングの他、日常的な支援やご家族との情報交換を通してニーズや課題を整理し、支援計画に反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所で作成したアセスメントシートを活用し、状況の把握に努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間でその都度意見を出し合いながら、子どもたちに合わせたプログラムを組んでいる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		平日は利用時間が短いため固定した内容になりがちだが、休日や長期休業期間は、子どもたちの成長や興味・関心を考慮しながら、変化に富んだプログラムとなるよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日については日常動作のなかで取り組める課題を中心とし、長期休業期間については行事を多く企画することで課題やニーズに即したプログラムを実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの課題やその時々の状況に応じて、適した活動に取り組めるよう個別活動と集団活動を組み合わせ実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員間で事前に活動内容や配置について確認し、ホワイトボードに記載しておくことで、子どもたち自身にも活動内容が見えるよう工夫している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援の中で気づいた点について職員間で共有するように努めているが、情報共有が全員に行き届いていない事もあったので改善していきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日一人一人のケース記録を入力し、支援における改善事項や留意点等を職員間で共有できるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを実施し、必要な場合は計画の見直しを行なっている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			日常生活動作に関する支援や創作活動、運動、余暇活動など複数の活動プログラムを組み合わせた支援を行なっている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者の他、必要に応じて直接支援を行なっている担当職員も参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎時等を利用し、常に情報の共有を行なっている。また、年間予定表や月間予定表（下校時刻記載のもの）をいただき、送迎時間のミスが発生しないようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現時点では必要な職員体制や設備が整っていないため、医療的ケアが必要な子どもの受け入れは難しい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用受け入れ前に利用していた機関の職員と引継ぎの場を設けたり、訪問し実際に利用時の様子を見せてもらうなど積極的に情報共有を行なっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			当事業所は多機能型であることから、同事業所内のサービスへ移行する方がほとんどであり、移行後の事業担当職員へ円滑に情報提供が行えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	令和5年度は専門機関主催の研修に参加していない。今後専門機関主催の研修等があれば積極的に参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	現在、交流の機会はない。実施する場合はご家族の意見も伺いながら検討していく必要があると考えている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	以前は参加していたが、新型コロナの影響により協議会の開催そのものが見合わせとなったままの状態にある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の時間等を利用し、ご家庭での様子や事業所での様子について日常的に情報交換を行なっている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	相談があった場合は、事業所で行っている支援方法などをアドバイスしている。状況によっては関係機関を紹介するなどの対応を行なっている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行なっている。また、行事等により負担金が発生する場合や支援計画策定・更新時など、必要に応じてその都度説明を行なっている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談には真摯に対応し、支援者の視点からの助言を行なうとともに、必要な支援を受けられる関係機関への紹介なども行なっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会等はない。保護者参加の行事等実施できれば、保護者同士の交流の場になるのではと考え、検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項説明書に苦情・要望の受付窓口等を明記し、口頭でも説明を行なっている。苦情・要望があれば真摯に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月広報誌を発行し、行事や日常の活動の様子などを伝えている。また、長期休業前には期間中の行事の予定などをプリントで伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報についての認識を持ち、管理徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもや保護者個々の特性に配慮した伝え方を心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	行事への招待は実施していない。地域で開催される行事への参加は可能な範囲で行なっている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各マニュアルは策定しているが、ご家族への周知は不足している部分もある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			火災や地震に備えた避難訓練・通報訓練を事業所全体で定期的実施している他、放課後等デイサービスの活動プログラムとして、学びの機会を設定している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			委員会の設置と共に、内部・外部の虐待に関する研修会に参加し、職員の虐待に対する意識向上に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			やむを得ない場合を想定した身体拘束について、事前にその目的や方法などご家族へ説明し同意をいただくとともに、必要に応じて個別支援計画への記載を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			主治医の指示やご家庭での対応などを細かく聞き取り、全職員で周知し対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例については報告書を作成し、全職員で共有し再発防止に努めている。

評価実施日	令和6年3月29日	
評価実施者	児童指導員	千葉 一樹
	児童指導員	大坂 真弓
	管理者	佐藤 裕也
	児童発達支援管理責任者	澁谷 智子